

あけまして
おめでとうございます。

本校はこれからも、
子どもたちの

「健やかな育ち」

「前向きな学び」

「誠実な言葉と行い」

の実現を目指してまいります。
そして本年は、
地域と学校がより手を携えて
子どもたちを導き、
見守つていいくことができれば
どうぞよろしく

お願いいいたします。



元旦の須屋神社は、快晴のもと多くの地元の方々の参拝で賑わっていました。そこでは、子どもたちをはじめ保護者や地域の方々に、にこやかにお声がけいただき、すがすがしくも温かい気持ちになりました。これが、素直で温かい心根をもつ本校の子どもたちが育つ環境なのだと、改めて感じました。

やがて子どもたちによる須屋神楽が始まりました。高校生から順番に、厳かに神樂を舞います。高校生の舞いには、一段と厳かがあり年季を感じます。そんな高校生の舞いを小中学生が憧れの目でじっと見つめていました。次に中学生、そして小学生の神楽が奉納されました。

時間にして約一時間。その間、神樂を舞う子どもたちの親や地域の方々がずっと見守っています。子どもたちそれぞれの成長を喜び合い、語り合いながら。そこには、決してたき火や快晴の日差しだけではない温かさが、確かにありました。西南小は今年から二〇〇九年の節目を目指します。これから約五〇年後も変わらず、そしてより温かい西南小を保護者・地域の皆さんと指していく所存です。